

2007年1月4日

各位

新日鉱ホールディングス株式会社

当社社長の「2007年 新年挨拶」について

当社社長 高萩光紀の「2007年 新年挨拶」は要旨次のとおりです。

1. 疾風迅雷が予感される「亥(猪)」年を迎え、希望に満ち、勇気を持って、激動の日々に立ち向かっていただきたい。今期は過去最高レベルの業績になると見込んでいるが、決してこれに楽観せず、課題山積との自戒を持って事に当たっていくことが重要である。
2. 石油事業では、CS(顧客満足)の徹底、鹿島アロマプロジェクトを通して、収益の底上げを図る。金属事業では、レガリート銅鉱山権益取得に続く、自主鉱山開発への探索に努めていく。電子材料・金属加工の両事業は、従来の携帯電話・デジタル製品に加え、自動車分野への進出と中国展開における成果を期待する。
3. 2007-2009年度を対象とする次期中計での3カ年計画に加え、10年程度先の事業環境の変化に対応したあるべき事業構造(長期ビジョン)を検討していく。また、「経営の透明性」を一段と高めるため、ガバナンス体制をより強固なものとする。加えて、従来に増して、新日鉱グループの経営や事業についての説明機会を増やし、株主をはじめとするステークホルダーの皆様のご理解を深めていく。

以上

お問合せ先：新日鉱ホールディングス株式会社

IR・広報担当(太田・池元・花島)

TEL:03-5573-5124